都市再生整備計画（第3回変更）

海士方（あまがた）地区

島根（しまね）県　海士町（あまちょう）

平成20年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	島根県（しまねけん）	市町村名	海士町（あまちょう）	地区名	海士方地区（あま　がたちく）	面積	620 ha

計画期間	平成　16　年度 ～ 平成　20　年度	交付期間	平成　16　年度 ～ 平成　20　年度

目標

大目標 ： 歴史文化を活用した景観づくりと体験型観光振興による交流促進。新産業創出と住環境整備をベースとした若者定住による島の自立。

目標1　後鳥羽上皇、ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）といった歴史資源を活用した観光客にやさしい景観づくりを進め観光振興を図る。

目標2　住環境整備を図り、生産年齢人口（特に20代～40代）の定住化を促進する。

目標3　住民参画の支援を図り、官民一体となったまちづくり活動への意識高揚を促進する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

①国の施策や国家的プロジェクトとの関連性

地域再生計画 ····· 海士デパートメントストアー～「選ばれし島」まるごと届けます～という計画で申請。『そこに行けばなんでもそろう』これが、海士デパートメントストアーのコンセプト。

隠岐の国海士町はお客様に自信をもって訪れていただけるだけの楽しさ、美味しさを一杯詰め込んだ、いわば島まるごとがデパートになることをめざしていく。

構造改革特区の認定 ····· 海士町の農業の基幹は米と畜産であり、今も昔ながらの田園や放牧風景が残っているが、担い手不足により耕地の荒廃が進んでいる。一方、公共事業が減少し、建設会社は新たな事業展開を模索している。そこで、建設会社が農業を行う特定法人を立ち上げ、特区を活用し遊休農地等を利用した畜産業、水稲等に取り組むことを可能とし、雇用を創出するとともに潮風の恵みを受けた農畜産物を生み出す島の農業と田舎の原風景を守るとともに、『島の和牛がおいしいのは、ミネラル豊富な潮風が育てた牧草を食べて大きくなるから。』をキャッチフレーズに海士牛のブランド化を推進し、安定的な島の畜産業を確立する。また、耕畜連携による稲藁、家畜糞尿、木材チップ、さらに豊富な海藻や貝殻を活用した島でしか出来ない独自の堆肥づくりを行うことで特色ある作物の推進を図るなど、リサイクル・循環型社会の構築をも目指す。

②まちづくりに向けた機運について

従来のまちづくりは、どうしても行政主導によることが多かったが、第3次総合振興計画を策定する頃より住民参画が増えてきた。それらは、既存の団体が中心的なものから、地産地消の夕市事業を展開してきた「中の島親類クラブ」、一昨年からNPO法人の立ち上げに向けて組織された若者グループ「海士人」等、町の活性化に向けて自主的に結成されたものへと変わってきた。

昨年秋に行われた海士町千本桜構想による植樹作業には7百人以上もの参加者があり、人口2500人の町にとっては大変な参加率であり、行政と住民が一体となったまちづくりに向けた機運は大変盛り上がってきている。

③計画作成に於ける住民意向の把握、住民・民間業者等との協力について

計画策定にあたっては、庁内の複数の課で協議を行なうと共に、管理職以上で組織される経営会議において協議を進めた。住民の意向確認については、昨年秋に菱浦まちづくり委員会（地元住民12名参加）を設置し、5回のワークショップ（延べ参加人数126名）を開催し、計画内容について協議を行った。

計画内容の周知方法としては、4月に町内14集落の座談会（延べ参加人数450人）を開催し、町の方針と計画概要を説明し、広く意見を求め住民の合意を図ってきた。

課題

島の活性化を図っていくうえでの大きな課題は、過疎化・少子高齢化による生産年齢人口の低下と労働力の低下である。

これらの課題解決に向けた産業創出策と定住対策が最重要課題である。

・島の資源を活用した体験型、滞在型観光を促進し、交流人口の拡大によるまちづくりを展開していくためには、来島者がゆっくり安らぎと癒しを感じるもてなしと景観づくりが必要である。そのためには、歴史文化を活かした景観づくりと観光入り込み客数を増加させる必要がある。

・町内の名所、旧跡への案内が不十分であり、また、道路事情も良好とは言えない状況のため、観光客へ優しい案内板の設置と、道路改良による快適性と安全性の向上が必要。

・生産年齢人口の割合が大変低い状況であり、担い手育成手とまちの活性化に向けた定住環境の整備が重要課題となっている。

・離島地域における産業振興の大きなハンデは流通体制にある。島内需要だけでの産業振興は限られたものがあるため、島外への販売を進めなければならない。そのためには、流通体制の再構築が求められている。

将来ビジョン（中長期）

島の資源を活用し、交流を核としたまちづくり事業による島の活性化

平成10年度策定の第3次総合振興計画「キンニャモニャの変」では、地域の生き残りをかけた大競争時代を生き抜くための努力目標を、「自らが汗を流して、我が町の自慢になる顔を作ろう！」とした。

地域の自立を求め、「ものの見方」「ものの考え方」などここに住んでいる人たちの意識改革を図り、「ふるさと再発見」という意識を持って、歴史・文化・人などの島の資源を再発見して活用し、「人づくり」「ものづくり」「健康づくり」のもと、「あま学」「あま市」「あま心」といったまちづくりのシンボル事業（3本柱）の実施を「人やモノ」の交流を手段として展開しているところである。本町の地域再生のためには、3本柱の事業を明確に実施していくことが求められており、特に加工の新技術導入（CAS）による加工新商品の開発は、新産業と雇用の連鎖を生み、島で生産される農林水産物に高付加価値を付け、地産地消による内需拡大と、島外からの外貨獲得により安定収入を確保でき、生産者の意欲と生産性が相乗的に高まる。また、天然塩の製造という固有の地域資源を体験という形でも活用を促していくことで、修学旅行等で来島する都会の生徒に体験メニューとして提供することも可能となり、都市と離島の交流が図られることから担い手の育成や雇用の場とて新たな創出効果を生むこととなる。

これらが有機的に連鎖するしくみと同時に海士ファンを創出魅了することで、新たな物・人の流れが生まれ、安定した供給体制の確立、安定した社会構築の形成に期待が高まる。

また、定住雇用者との交流を通し、地域資源を活かした海士らしいふるさとを再発見・再定義することで意識改革が進み、人と人、人と町の出会いの機会を増大させる動きの中で地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした個性的なまちづくりが地域社会復活の起爆剤になる得る。

このように本町の総合的なまちづくり方針を積極的に展開して行くことで、経済的豊かさ・環境的豊かさ・精神的豊かさといった、離島ならではの循環社会構築に大きな効果がある。

目標を定量化する指標

指　標	単位	定　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1. 観光客入り込み数	人	観光施設入館者数・観光バス乗車人数・ホテル宿泊者数の合計人数	「観光振興による交流促進」を計る指標として設定する。口コミによる情報発信力の効果拡大と観光客の感想をもとに観光振興を進める。	63,900	15年度	33,000	20年度
2. 生産年齢人口割合	%	全人口に占める20才から64才までの人口割合	この年代の人口が増えることにより、生産力や労働力が高まり、まちづくり活動の活性化が期待される。	45	15年度	46	20年度
3. 観光客の満足度	%	アンケート調査による海士町での体験（食・文化・もてなし）や景観についての満足度	不十分な案内板、道路環境等を整備するとともに、もてなしの心で接することにより、来島者五割以上が満足する環境づくりを進める。	47	15年度	60	20年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1．歴史文化を活かした景観形成と憩いの場の提供 後鳥羽上皇やラフカディオハーンに代表される歴史・文化・史跡といった地域資源を活かした景観形成を行う。 ・ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）が愛した風景を残す菱浦区内の緑地を公園化し、ハーンが名付けた「鏡浦（菱浦湾）」を眺められる散策コースも整備する。またハーンと妻セツのモニュメントを設置する。 ・集落内道路の路面を当時をしのばせる石畳道路に改良するとともに、街灯も安らぎと癒しのあるものに整備する。 ・町内の名所旧跡への道しるべが大変少なく、来島者の方々が道を間違えたり、迷ったりすることが多い。以前は団体の観光が多く、観光バスによる移動が主だったため混乱は少なかったが、個人客や小グループの観光客が増えてきたことにより、道路標識や観光案内板の設置が必要となったので、30箇所程度設置を行う。また、高齢者や障害者の旅行も増えているため、観光地に多目的トイレを整備する。 ・町の玄関である菱浦地区の旧通り街を石畳みとし、また、商店等にのれんを設置して街並み景観づくりを進める。 ・日本名水百選「天川の水」、景勝「三郎岩」、天然塩づくり体験施設等への道路を改良すると共に「天川の水」周辺の広場整備を行い、観光客の癒し空間の演出と快適性、安全性を高める。	道路(基幹事業／町) 公園(基幹事業／町) 地域生活基盤施設(基幹事業／町) 高質空間形成施設(基幹事業／町) サイン整備検討事業(提案事業／町) 街並み景観づくり協働参画事業(提案事業／町) 海士町体験モニター事業(提案事業／町) 先灘地区港湾環境整備事業(関連事業／町) 西地区一般農道整備事業(関連事業／県) 特定交通安全施設等整備事業(関連事業／県)
整備方針2．生活拠点の整備と若者世代の受け入れ（定住対策） まちづくり活動の推進力向上と天然塩づくり、梅の郷づくり等の産業振興の担い手確保に向け、若者世代の定住環境を充足させる。 ・町内に不動産業がなく、ＵＩターン者が入居できる住宅が皆無に等しい状態のため、特定公共賃貸住宅3戸、定住促進住宅20戸、空き家再利用8戸、塩技能修得施設3戸の建設を行ない、ＵＩターン者への住宅斡旋を促進する。 ・若者世代の雇用確保と産業振興を目的に、関連事業として農林水産物処理加工施設、天然塩精製施設整備を行う。 ・住環境の向上と、海の自然環境の維持を図るために、町内全集落の下水道整備を促進する。	道路(基幹事業／町) 公営住宅等整備(基幹産業／町) 既存建造 物活用事業(基幹事業／町) 定住促進住宅整備(提案事業／町) 塩技能修得施設建設事業(提案事業／町) 空き家活用事業(提案事業／町) 特定環境保全公共下水道整備事業(関連事業／町) 農林水産物処理加工施設整備事業(関連事業／町) 天然塩精製施設整備事業(関連事業／町) 潮風ファーム設立(関連事業／民間) 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金(関連事業／町)
整備方針3．まちづくり活動の拠点作りと住民の意識高揚を図るソフト事業の推進 住民のまちづくり活動を促進するために、その活動拠点施設の整備とまちづくりに向けたソフト事業の展開を図っていく。 ・ＮＰＯ法人申請中の「海士人」の活動拠点施設の確保に向けて、旧家の土蔵を拠点施設に改良を行う。 ・景観づくりに向けて、地元住民、ＮＰＯ法人、県外の芸術大学等と連携し、海士町にあった景観づくりの話し合いと検証を進める。 ・島の生活体験事業や歴史文化体験事業を実施し、参加者の声を集約することにより、まちづくりの検証と方向性を明確化させる。	地域生活基盤施設(基幹事業) 既存建造物活用事業(基幹事業／町) 老朽住宅除去事業(提案事業／町) 街並み景観づくり協働参画事業(提案事業／町) 海士町体験モニター事業(提案事業／町) 漁業集落環境整備事業(関連事業／町) 離島交流事業(関連事業／町) 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金(関連事業／町)

その他

○継続的なまちづくり活動

中の島親類クラブ(35名)の夕市活動に始まった地産地消への取り組み、承久海道「キンニャモニャセンター」の建設と運営方針について協議を行った「キンニャモニャセンター活性化検討委員会(50名)」、キンニャモニャ保存会による郷土民謡キンニャモニャの全国情報発信、菱浦まちづくり委員会による景観づくり協議等、住民によるまちづくり活動は積極的に行われている。また、昨年度より任意団体としてまちづくり活動に参画し、現在ＮＰＯ法人への認可申請中（５月下旬には認証予定）である若者グループ「海士人」の結成等、積極的にまちづくり活動が展開されてい

○景観形成への取り組み

・施設の維持管理、清掃等への住民参加
町内唯一のホテル（第３セクター運営）の前庭には、海士町にある野草や花、木だけが植えられている。この庭を造るにあたっては、地元のワークショップグループが中心となって一般の住民に協力を呼びかけた。また、その一角にあるハーブガーデンもミントクラブの女性グループが庭造りからその後の管理まで行っている。
・千本桜構想による桜の植栽事業には、７００人以上もの住民の参加があった。
・町民の景観への意識高揚に向け、環境条例を制定、施行した。また、住民グループによる清掃活動が展開されている。

○新産業創出に向けた取り組み

・構造改革特区（農業構造改革特区）の認定による民間企業の農業法人化
海士町の農業の基幹は米と畜産であり、今も昔ながらの田園や放牧風景が残っているが、担い手不足により耕地の荒廃が進んでいる。農業特区を活用し遊休農地等を利用した畜産業、水稲等に取り組むことを可能としたことにより、民間企業が農業経営に向けて「潮風ファーム」を立ち上げ、畜産業に参画し、海士牛のブランド化を推進し、安定的な島の畜産業の確立にむけて事業がスタートした。
また、耕畜連携による稲藁、家畜糞尿、木材チップ、さらに豊富な海藻や貝殻を活用した島でしか出来ない独自の堆肥づくりを行うことで特色ある作物の推進を図るなど、リサイクル・循環型

○交付期間中の計画管理

・各種事業展開に向けて、その着実な実行と効果をあげるために、庁内の検討機関による検証と、体験事業参加者等のアンケート調査や意見交換会等によって検証を行ない、効果のある計画実施を図る。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	833	交付限度額	265	国費率	0.318

（金額の単位は百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間 開始年度	(参考)事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
道路		町道中里保々見線	海士町	直	L=850m W=4m	16	16	16	16	27.5	27.5	27.5		27.5
		町道新開2号線	海士町	直	L=112m W=5m	20	20	20	20	66.0	66.0	66.0		66.0
		町道宇受賀線	海士町	直	L=217m W=7m	20	20	20	20	94.0	94.0	94.0		94.0
公園		金光寺山公園	海士町	直	400㎡	17	18	17	18	21.7	21.7	21.7		21.7
		保々見公園	海士町	直	350㎡	18	18	18	18	19.0	19.0	19.0		19.0
		家督山公園	海士町	直	200㎡	18	18	18	18	11.7	11.7	11.7		11.7
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		－			－									
地域生活基盤施設		－	海士町	直	－	16	20	16	20	156.6	156.6	156.6		156.6
高質空間形成施設		－	海士町	直	－	18	20	18	20	9.1	9.1	9.1		9.1
高次都市施設		－			－									
既存建造物活用事業		－	海士町	直	－	18	18	18	18	8.4	8.4	8.4		8.4
土地区画整理事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備		ひまわり団地	海士町	直	81㎡＊3戸	16	16	16	16	52.3	52.3	52.3		52.3
		崎団地	海士町	直	RC3階6戸建て	18	18	18	18	10.7	10.7	10.7		10.7
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										477.0	477.0	477.0	0.0	477.0 …A

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間 開始年度	(参考)事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
地域創造支援事業	定住促進住宅建設事業	ひまわり団地、東団地、崎団地	海士町	直	68㎡*4、54㎡*4 38㎡*12	16	17	16	17	202.4	202.4	202.4		202.4
	塩技能修得施設建設事業	保々見地区	海士町	直	3戸(120㎡)	17	17	17	17	45.0	45.0	45.0		45.0
	空き家再利用事業	菱浦地区他	海士町	直	再利用 8戸	16	18	16	18	42.0	42.0	42.0		42.0
	老朽住宅除去事業	東地区他	海士町	直	除去 5戸	17	20	17	20	14.6	14.6	14.6		14.6
事業活用調査	事業効果分析	－	海士町	直	－	20	20	20	20	1.6	1.6	1.6		1.6
まちづくり活動推進事業	街並み景観づくり協働参画事業	－	海士町	直	－	16	20	16	20	17.6	17.6	17.6		17.6
	海士町体験モニター事業	－	海士町	直	－	16	18	16	18	17.3	17.3	17.3		17.3
	サイン整備検討事業	－	海士町	直	－	16	18	16	18	15.5	15.5	15.5		15.5
合計										356.0	356.0	356.0	0.0	356.0 …B
													合計(A+B)	833.0

(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○) 直轄	補助	地方単独	民間	事業期間 開始年度	終了年度	全体事業費
特定環境保全公共下水道整備事業	海士方5地区	海士町	国土交通省	管 L=9300m		○			16	20	2,063
漁業集落環境整備事業	菱浦地区土蔵改修	海士町	農林水産省	69㎡		○			18	18	22
離島交流事業	菱浦地区	海士町	国土交通省	185㎡		○			17	17	52
梅の郷づくり事業	崎地区	海士町	厚生労働省	68人雇用		○			17	18	57
農林水産物処理加工施設整備事業	菱浦地区	海士町	農林水産省	761㎡		○			16	16	367
天然塩精製施設整備事業	保々見地区	海士町	農林水産省	244㎡		○			16	16	87
先灘地区港湾環境整備事業	菱浦地区	海士町	国土交通省	養浜1500㎡他		○			15	21	500
潮風ファーム設立	宇受賀地区	飯古建設(有)	農林水産省	資本金				○	15	15	48
西地区一般農道整備事業	西・御波地区	島根県	島根県	L=1200m W=7	○				20	20	92
特定交通安全施設等整備事業	東・菱浦地区	島根県	国土交通省	L=800m W=4m		○			20	21	40
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金	崎地区	海士町	農林水産省	学校1000㎡		○			19	20	50
合計											3,378

海士方地区（島根県海士町） 整備方針概要図

目標	◎歴史文化を活用した景観づくりと体験型観光振興による交流促進を図り、新産業創出と住環境整備をベースとした若者定住に向けた基盤づくりを促進する。	代表的な指標						
			観光客入り込み数（ 人 ）	63,900	（ 15年度）	→	33,000	（ 20年度）
			生産年齢人口割合（ % ）	45	（ 15年度）	→	46	（ 20年度）
			観光客の満足度（ % ）	47	（ 15年度）	→	60	（ 20年度）

□提案事業
地域創造支援事業
定住促進住宅整備
［崎団地2戸］

○関連事業
農山漁村活性化ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ
支援交付金事業
［梅の郷学校・研修施設］

■基幹事業
公営住宅整備等
ストック改善総合整備事業
［崎団地］

○関連事業
梅の郷づくり事業［崎地区］

□提案事業
地域創造支援事業
［空き家再利用 8戸］
東/菱浦/中里地区

□提案事業
地域創造支援事業
老朽住宅除去 5戸］ 菱浦地区

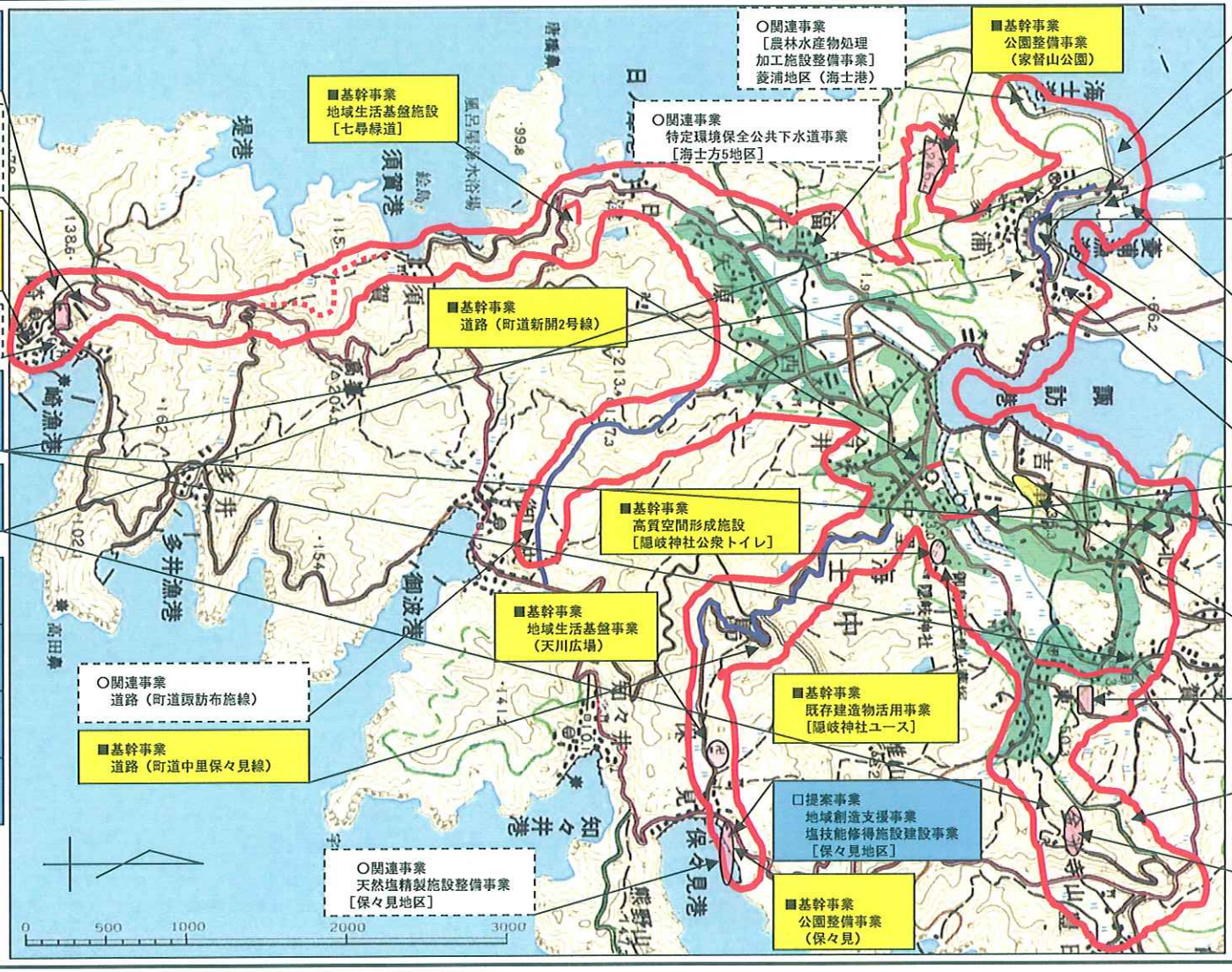
□提案事業
まちづくり活動進事業
［海士町体験モニター事業］

□提案事業
まちづくり活動進事業
［街並み景観づくり協働参画事業］

□提案事業
まちづくり活動進事業
［サイン整備検討事業］

□提案事業
事業活用調査
［事業効果分析］

凡 例
- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業



○関連事業
［先導地区港湾環境整備事業］
菱浦地区

○関連事業
［離島交流事業］ 菱浦地区

○関連事業
漁業集落環境整備事業
［土蔵改修活用］

○関連事業
特定交通安全施設等整備事業
［集落道修景］

■基幹事業
地域生活基盤施設
［自転車駐輪場］

■基幹事業
地域生活基盤施設［広場整備］

■基幹事業
地域生活基盤施設
［情報板］ サイン整備

■基幹事業
道路（町道宇受賀線）

□提案事業
地域創造支援事業
定住促進住宅整備
［ひまわり団地 11戸］

■基幹事業
公営住宅等整備
［ひまわり団地 3戸］

□提案事業
地域創造支援事業
定住促進住宅整備
［東団地 7戸］

○関連事業
瀞風ファーム設立
［宇受賀地区］

■基幹事業
公園整備事業
（金光寺山公園）